

4月25日 尹錫悦 - バイデン会談

「核協議」新設、戦略原潜-韓国派遣



戦略原潜オハイオ級 全長171mの巨大艦。米海軍は14隻保有

核兵器搭載可能な射程12000キロの弾道ミサイルを20基搭載

●広島投下原爆 15キロトン ●トライデント 100キロトン

戦略原潜をトマホーク巡航ミサイル搭載型(154発)に改造したものが4隻あり、横須賀にも何度か寄港した。

自衛隊は日本海で何をやっているのか こんな訓練を年に何回も繰り返している



訓練では、強固な日米同盟の下、あらゆる事態に対処する日米の強い意思と自衛隊と米軍の即応態勢を確認するとともに、共同作戦能力の更なる強化を図りました。

1 期 日 令和5年4月14日
(金)

2 訓練場所 日本海上の空域

3 参加部隊 (1) 航空自衛隊
F-15戦闘機×4機 (第6航空団)

(2) 米軍 B-52爆撃機×2機、
F-35戦闘機×4機、KC-135空中給油機×2機

4 訓練項目 各種戦術訓練

いつまで、こんなことを繰り返すのか 日米の艦隊行動が拡大すれば中国軍も対抗措置をとる

- 令和5年5月11日 統合幕僚監部（お知らせ）
- 中国海軍艦艇の動向について
- 令和5年5月11日（木）午前0時頃、海上自衛隊は、伊豆諸島の須美寿島（東京都）の東約90kmの海域において、同海域を南西進する中国海軍ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦1隻（「艦番号「119」）、フチ級補給艦1隻（艦番号「889」）、**レンハイ級ミサイル駆逐艦1隻（艦番号「102」）**及びジャンカイⅡ級フリゲート1隻（艦番号「542」）の計4隻を確認した。その後、これらの艦艇が、須美寿島と鳥島（東京都）との間の海域を西進したことを確認した。なお、これらの艦艇は、4月30日（日）に対馬海峡を北東進した後、5月6日（土）に宗谷海峡を北東進したものと同一である。防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第7護衛隊所属「すずなみ」（大湊）により、警戒監視・情報収集を行った。